

## 2025 年度入学試験問題 出題趣旨（小論文）

本問は、セクハラ概念とジェンダー差別との関係に関する文章を読解して長文の作成を求めるものである。問1、問2に共通して、社会的文脈を踏まえたうえでの、日本語の読解力と表現力を問うているほか、内容的に、問1では著者が主張する内容についてその意味内容を理解した上での確にまとめることができることを問い、問2では、著者の主張を整理・検討し、それを踏まえて自らの見解につき理由を挙げて論理的に提示することができるかを問うたものである。以上によって、法科大学院での履修の前提として要求される、社会に関する関心と知識、論理的思考力・判断力、また分析力及び表現力を備えているかを試したものである。